

ちとせ会 ニュースレター

～山形県立保健医療大学作業療法学系同窓会～

はじめに

ちとせ会では、会員相互の情報交流を促進するために、ニュースレターを発刊しております。この第14号では、昨年催された第15回総会、ならびにそれに先立つ特別講演の様をお伝えいたします。今回は本学元講師である医療創生大学 慶徳 民夫先生と卒業生 先生から神保 匡良ご講演いただきました。

第15回山形県立保健医療大学作業療法学系同窓会「ちとせ会」総会 (令和元年10月19日開催)

1. 特別講演 医療創生大学 健康医療科学部 作業療学科 慶徳 民夫 先生

「地域作業療法の魅力と今後の展望 - Community based OT's charm and vision」

本学の講師であった慶徳先生をお招きし、地域作業療法について講演していただきました。当時は台風19号の影響で先生のお勤め先である福島も被害を受けていました。そういった実体験を踏まえながら説明していただき、日頃からの地域のコミュニティにおける関係の大切さを実感しました。

2. 卒業生の活動報告 大学5期卒業 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 神保 匡良 先生

大学生生活から学校の教員になるまでをユーモアを交えつつ講演していただきました。教員という立場にいらっしゃる卒業生はなかなかいらっしゃらないため、とても興味深いお話でした。

3. 総会

総会での審議結果

- 2019年度会計報告、ならびに2020年度予算案が承認された。
- 事業計画として、今後も定期的に総会を開いていくことが提案され、承認された。

参加者感想

第15回同窓会に参加した同窓生に書いていただいた感想文の一部を紹介します。

- 地域作業療法に興味があったため、慶徳先生のお話は大変興味深かった。今回は先生の職場が台風被害を受けたということだったが、こういった災害時に普段からの地域の関りが大切になってくるのだと感じた。
- 神保先生の大学時代のお話が面白かった。ほめてのばす会を作った方だと知って驚きました。



○編集後記○

第25回ちとせ会では、慶徳先生の特別講演に加え、卒業生である神保先生の講演があり、日々の臨床に大変役立つ内容でした。今年と同窓会は新型コロナウイルス感染拡大防止の関係で例年のような形で集まることは中止としました。コロナが落ち着いた頃、また同窓生でお会いできるのを楽しみにしています。みなさんもお身体にお気をつけてお過ごしください。